

商工会議所LOBO（早期景気観測）

-2019年3月調査結果-

調査概要

- 調査期間 2019年3月6日～3月29日
- 調査対象 200社
- 回答企業 111社
- 回収率 55.5%

※DI値（景気判断指数）について

DI値は、売上・採算・業況などの各項目についての判断の状況を表す。

ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

なお、従業員の項目については、DI値ゼロを基準として、プラス値は人員不足感を表し、マイナス値は人員過剰感を表している。

DI値 = (増加・好転などの企業割合) - (減少・悪化などの企業割合)

業況・採算：(好転) - (悪化) / 売上：(増加) - (減少) / 従業員：(不足) - (過剰)

旭川市概況

※全産業の3月の状況を見ると業況DIは、前月より4.3ポイント悪化の▲21.6となった。

2017年9月以来19ヶ月連続でマイナス水準を推移している。

※向こう3か月の全産業における、先行き見通し業況DIは▲22.5、当月に比べ8.6ポイントの悪化を見込んでいる。

旭川市全産業 DI 値（前年同月比）の推移

	2018年 10月	11月	12月	2019年 1月	2月	3月	先行き見通し 2019年4月～ 6月
業況	▲34.2	▲21.6	▲21.1	▲24.5	▲25.9	▲21.6	▲22.5
売上	▲20.7	▲7.2	▲9.2	▲21.8	▲27.9	▲17.1	▲15.4
採算	▲25.2	▲21.6	▲12.8	▲23.6	▲26.0	▲24.3	▲21.6
仕入単価	▲43.7	▲43.2	▲30.2	▲36.4	▲41.4	▲43.2	▲45.0
従業員	33.3	32.4	31.2	27.5	29.8	33.3	37.8
資金繰り	▲9.9	▲9.9	▲7.3	▲10.0	▲8.7	▲7.2	▲9.9

旭川市産業別業況DI値（前年同月比）の推移

	2018年 10月	11月	12月	2019年 1月	2月	3月	先行き見通し 2019年4月～ 6月
建設	▲51.9	▲33.3	▲20.0	▲34.7	▲40.7	▲18.5	▲18.5
製造	▲25.0	▲16.0	▲37.5	▲32.0	▲32.0	▲24.2	▲27.6
卸売	▲15.0	▲5.3	▲17.4	▲26.1	▲15.0	▲22.8	▲18.2
小売	▲25.0	▲29.4	▲5.5	▲16.7	▲13.3	▲26.6	▲33.3
サービス	▲50.0	▲20.0	▲21.1	▲5.5	▲17.6	▲16.6	▲16.6

今月のトピックス（業界の声・経営上の問題点）

建設業	<ul style="list-style-type: none"> ・社員及び協力会社、下請け会社を含めた技術者確保が一番の課題。(総合工事) ・業界(専門業)の仕事量が減少傾向にあり、競争が激しくなっている。(設備その他) ・技術職員の不足。(設備その他) ・工事再開により従業員不足、仕事ガイド等で従業員の募集も面接者無し。(建築)
製造業	<ul style="list-style-type: none"> ・パート雇用環境の逼迫。(食料品) ・製紙メーカーの生産調整のため、紙不足が続いている。(印刷・出版) ・運賃の値上げが大きく負担となる。(家具木材) ・受注は前年より見通しが良い。(金属窯業他) ・当社主要資材のアルミ押出材等がやっと僅かに値下りした。(金属窯業他)
卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ・前年と同等の業況(機械鋼材) ・土木作業員の確保(機械鋼材) ・灯油について仕入価格が小幅に上昇したが、販売価格は措置。3月も大きな変動は無いものと思われる。(その他)
小売業	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業・進学・就職用スーツの需要が年々減少し売上が大変厳しい。T.P.Oの概念がなくなってきているようだ。(カジュアル化が進んでいる) (衣服見回品) ・機械設備の老朽化。(食料品) ・従業員不足が続いている。(その他)
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ・上川管内は前年比減少の売上。札幌、ニセコにて売上増。従業員は外国人採用にて不足はしていない。来年のオリンピックまでこの忙しさが続く。その後が心配である。(理美容クリーニング) ・燃料費(ガス)高騰、仕入単価上昇、人材不足。(ホテル・旅館) ・人手不足で販促営業をかけられない。結果、採算が悪化。(飲食) ・週休二日制の導入にあたり、従業員の働き方に対する意識改革が重要。(その他) ・冬期間の除排雪不足及び道路幅の減少による接触事故。(運送) ・運転手不足。燃料価格の動向。(運送)

旭川市の産業別概況

産業	概況
建設業	<p>売上 DI25.9 ポイント改善、採算 DI7.4 ポイント改善、仕入単価 DI3.7 ポイント改善、資金 DI0.2 ポイント悪化、従業員 DI3.8 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 22.2 ポイント改善となった。業種別では、建築業横ばい、総合工事 31 ポイント、設備・その他 20 ポイント改善となった。冬期間の請負工事減少に加え、春先の着工工事不足により売上高は減少しており、消費税増税により先行きに不安要素が多いものとなってきているとの声も寄せられている。</p>
製造業	<p>売上 DI1.2 ポイント悪化、採算 DI15.3 ポイント改善、仕入単価 DI6.1 ポイント悪化、資金 0.5 ポイント改善、従業員 DI5.7 ポイント減少し不足感が弱まった。総じて業況 DI は 7.8 ポイント改善となった。業種別では、金属窯業他 10 ポイント悪化、食料品 11 ポイント、印刷・出版 33 ポイント、家具・木材 8 ポイント改善となった。副資材の値上りがボディーローの様に効いてくる。3ヶ月先はともかく半年先の景気の落ち込みが心配との声も寄せられている。</p>
卸売業	<p>売上 DI20.0 ポイント改善、採算 DI17.3 ポイント悪化、仕入単価 DI12.2 ポイント改善、資金 DI1.4 ポイント改善、従業員 DI12.3 ポイント増加し不足感が強まった。総じて業況 DI は 7.8 ポイント悪化となった。業種別では、その他 3 ポイント改善、繊維・衣服等、機械鋼材横ばい、食料品 21 ポイント悪化となった。土木作業員の確保との声も寄せられている。</p>
小売業	<p>売上 DI 横ばい、採算 DI6.7 ポイント悪化、仕入単価 DI20.0 ポイント悪化、資金 DI 横ばい、従業員 DI13.4 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 13.3 ポイント悪化となった。業種別では、衣料品、食料品、自動車横ばい。その他 40 ポイント悪化となった。卒業・進学・就職用スーツの需要が年々減少し売上が大変厳しい。T.P.O の概念がなくなっているとの声も寄せられている。</p>
サービス業	<p>売上 DI1.1 ポイント改善、採算 DI1.6 ポイント改善、仕入単価 DI2.9 ポイント悪化、資金 DI6.8 ポイント改善、従業員 DI2.9 ポイント増加し不足感が高まった。総じて業況 DI は 1.0 ポイント改善となったが、「悪化」から「不変」への変化が主因であり、実態はほぼ横ばい。業種別では、その他 25 ポイント、飲食 33 ポイント悪化、理美容・クリーニング、ホテル・旅館、運送横ばい、整備業 50 ポイント改善となった。アルバイトの学生が卒業し就職するため、3 月は退転者が多く出るため人手不足がさらに悪化するとの声も寄せられている。</p>